

「智歯の萌出・埋伏位置による顎骨形態への影響」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2019年4月1日～2024年7月31日の間に下顎智歯抜歯のために山梨大学医学部附属病院
歯科口腔外科を受診し、パノラマX線とCT撮影を行った方。

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2026年12月28日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

2025年3月6日

4. 研究の目的

顎骨の形態異常（顎変形症）は、咬合不良または審美性の低下等の症状から治療対象となる疾患である。診断には、頭部X線規格写真によるセファロ分析やCT画像が用いられるが、限られた医療機関にのみあるのが現状である。スクリーニング検査がないため、自覚症状がない限りは、顎変形症と診断されずに治療情報提供の機会もない。

顎骨形態と関連が報告されている歯としては智歯がある。智歯は5歳以降に歯胚形成がされることから後天的な影響により欠損または萌出が決まると報告されている。これまでの研究から智歯が欠損している患者においては、顎骨が縮小傾向を示すことが報告されている。しかし、左右側智歯の萌出・埋伏形態の違いが顎骨形態に影響するかについては明らかになっていない。

この研究では、下顎智歯萌出・埋伏の違いによる顎骨形態への影響について明らかにする。智歯の萌出・埋伏形態が顎骨形態への影響を明らかにすることで、パノラマX線検査が顎変形症の診断の一助になると考えている。

5. 研究の方法

パノラマX線画像から下顎左右智歯の萌出・埋伏形態の一致する群と左右で異なる群の2群に分類する。CT画像から頭部X線規格写真を構築し、セファロ分析を行う。また、3次元CT画像を構築し、下顎枝と下顎下縁部の長さ測定を行う。セファロ分析値と3次元CTの計測値を2群間で比較を行う。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療記録(性別、年齢)、パノラマX線画像、CT画像

試料：該当なし

7. 研究組織

【研究責任者】

所属：山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 職名：講師 氏名：諸井明德

【研究分担者】

所属：山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 職名：助教 氏名：五味 佳蓮

所属：山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 職名：医員 氏名：小原 陸

8. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

9. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

10. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、資金提供は受けておりません。研究責任者及び分担研究者の利益相反については、山梨大学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切に審査されています。

・11 お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部歯科口腔外科学講座 講師 諸井明德

メールアドレス：amoroi@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-1111